Silver Star Japan Music Score Series

楽譜作成ソフトウェア

インストールガイド＆チュートリアル

MusicScore 3

ミュージックスコア 3

Silver Star

目次

1. 使用上のご注意 3
2. 取扱説明書について 3
2.1. ご注意 4
3. MusicScore3 のインストール方法 4
3.1. インストール前の準備 4
3.1.1. セットアッププログラムの起動 5
3.1.2. ディスクを入れても自動再生画面が表示されない場合 6
3.2.「MusicScore3」のインストール 7
3.2.1. インストールの開始 7
3.2.2. 使用許諾書を確認する 7
3.2.3. ユーザー情報とシリアル番号の入力 7
3.2.4. インストール先を選択する 8
3.2.5. インストールを実行する 8
3.2.6. インストールの完了 9
3.3. MusicScore3 の起動方法 9
3.4. MusicScore3 の終了方法 9
4. MusicScore3 のアンインストール方法 10
5. MIDI 機器の接続 11
6. 音源設定 12
7. PDF マニュアルについて 12
8. ヘルプファイルのご案内 12
9. 簡単な楽譜を入力してみましょう 13
9.1. 譜面の新規作成 13
9.2. 音符入力 14
9.3. 記号の入力 26
9.4. タイトルの入力 32
9.5. 五線譜の間隔を調整する 35
10. 製品のサポートについて 37

この度は『MusicScore3』をお買い上げ頂きありがとうございます。この説明書では製品のインストール手順とチュートリアルを解説致しますので、よくお読み頂きました上で大切に保管くださいますようお願い申し上げます。

1. 使用上のご注意

- **健康上のご注意**

  製品を使用中に、画面の激しい明滅などが原因による一時的な筋肉のけいれん、意識の喪失におそわれた場合は、すぐに製品の使用を中止して医師にご相談ください。

  製品を使用するときは部屋を明るくして、パソコンの画面に近づきすぎないようにご注意ください。また、1 時間ごとに 15 分程度の休憩を取り、疲労時や睡眠不足の状態でのご使用はお控えくださいますようお願いいたします。

- **製品の使用許諾について**

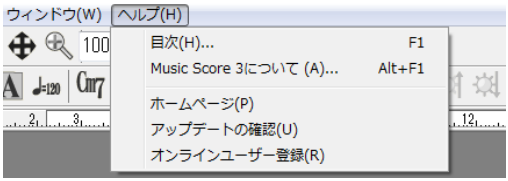
  同一のシリアルナンバーを用いて、本製品を 2 台以上のパソコンにインストールして使用することは、製品のライセンス(使用許諾)上、出来ませんのでご注意ください。

  他のパソコンで使用する場合は、現在使用しているパソコンから「MusicScore3」をアンインストール(削除)した後で新しいパソコンにインストールしてください。

2. 取扱説明書について

この取扱説明書では『MusicScore3』のインストール手順とチュートリアルをご案内いたします。本書に見当たらない機能につきましては、製品 CD に収録しております電子マニュアル(PDF 形式)またはヘルプをご覧ください。

ヘルプを表示するには、「ヘルプ」メニュー内の「目次」をクリックしてください。



以下の項目につきましては MusicScore のサポート対象外のため、本書での解説を省略しております。お手数ではございますが、ご使用中のパソコンに付属しております取扱説明書、および関連書籍をご参照くださいますようお願い致します。

- **Windows の操作方法**
- **パソコンの設定方法や用語に関するご質問**
- **作曲の方法、および音楽理論**

2.1. ご注意

- 本製品と取扱説明書の全て、または一部を当社に無断で複製、および転載することを禁じます。
- 本製品を運用した結果の影響について、当社では一切責任を負いかねますので、ご了承くださいますようお願い致します。
- 本製品の仕様や取扱説明書に記載されている内容は、将来予告なしに変更する場合があります。

3. MusicScore3 のインストール方法

『MusicScore3』をご使用頂くには、以下の手順に従ってお使いのパソコンへのインストール作業を行ってください。

本製品をインストールするときに、シリアル番号を入力する画面が表示されます。シリアル番号は製品に同梱されておりますユーザー登録はがきに記載されておりますので、お手元にご用意ください。プログラムの再インストールを行う際には製品 CD-ROM が必要となりますので、シリアル番号の控えと一緒に大切に保管してください。

3.1. インストール前の準備

最初にパソコンの再起動を行ってください。パソコンが起動しましたら、管理者権限のあるユーザーで Windows にログインします。

「管理者アカウント／コンピューターの管理者とは」
Windows の全ての機能を使用できるように設定されたユーザーのことです。ユーザーアカウントの設定を確認する方法については、Windows のヘルプをご覧ください。

※ MusicScore シリーズの体験版をご使用の場合は、それらをアンインストールした後に本製品のインストールを実行してください。

3.1.1. セットアッププログラムの起動

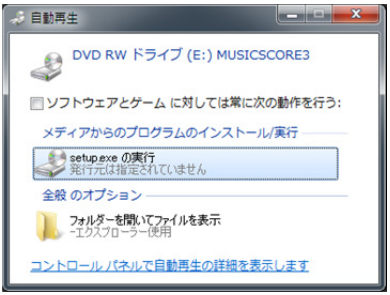
● Windows 8.1 / Windows 8 の場合

パソコンに製品 CD-ROM を入れると、スタート画面右上に右図の表示が出るので、この部分をクリックします。続いて操作を選択するメニューが表示されるので「setup.exe の実行」をクリックしてください。

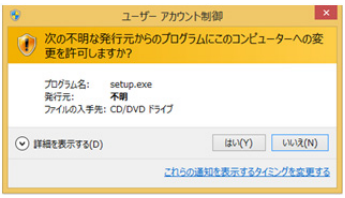
※ この表示は一定時間が経過すると消えますので、その場合は CD を入れ直してください。

● Windows 7 / Windows Vista の場合

パソコンに製品 CD-ROM を入れると、右図 の「自動再生ウィンドウ」が表示されるので「setup.exe の実行」をクリックしてください。



セットアッププログラムの起動時に「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は「はい」または「実行」をクリックしてください。



3.1.2. ディスクを入れても自動再生画面が表示されない場合

次の手順にて手動でセットアッププログラムを起動してください。

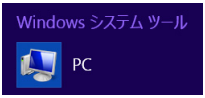
- **Windows 8.1 / Windows 8 の場合**

1. Windows8 では、スタート画面上でマウスを右クリックすると画面右下に「すべてのアプリ」ボタンが表示されるので、これをクリックします。Windows8.1 では、スタート画面上でマウスを動かすと画面左下に「下向き矢印」ボタンが表示されるので、こちらをクリックします。

「すべてのアプリ」ボタン（Windows8）

「下向き矢印」ボタン（Windows8.1）

2. パソコンにインストールされているアプリケーションが一覧表示されるので、その中にある「コンピューター」（または PC）をクリックします。



3. デスクトップ画面に切り替わり、ドライブ一覧のウィンドウが開くので、その中にある CD/DVD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4. CD の内容が表示されますので、その中にある「setup」アイコンを“右クリック”します。（setup.exe と表示されている場合もあります。）

5. 表示されたメニュー内の「管理者として実行」をクリックします。

- **Windows 7 / Windows Vista の場合**

1. デスクトップ画面左下の「スタートボタン」をクリックした後、表示されたメニューより「コンピューター」をクリックします。

2. ウィンドウが開くので、その中にある CD/DVD-ROM アイコンをダブルクリックします。

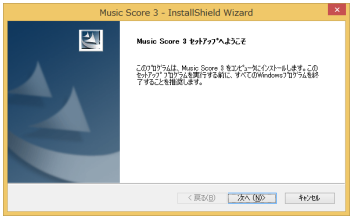
3. CD の内容が表示されますので、その中にある「setup」アイコンを“右クリック”します。（setup.exe と表示されている場合もあります）

4. 表示されたメニューの中にある「管理者として実行」をクリックします。

3.2.　「MusicScore3」のインストール

3.2.1.　インストールの開始

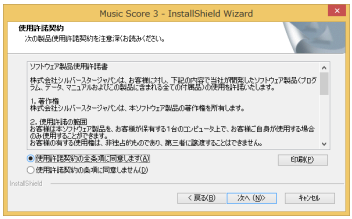
セットアッププログラムが起動するとインストール画面が表示されるので「次へ」をクリックします。



インストール作業を中断したい場合は「キャンセル」ボタンをクリックすると「セットアップの中止」という確認メッセージが表示されますので、「はい」をクリックするとインストールを中断できます。

3.2.2.　使用許諾書を確認する

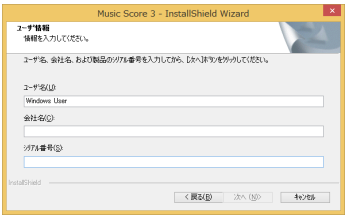
「使用許諾契約」の画面が表示されるので全条項に同意いただけましたら「使用許諾契約の全条項に同意します」をチェックして「次へ」をクリックします。



3.2.3.　ユーザー情報とシリアル番号の入力

「ユーザー情報」の画面が表示されるので、製品に同梱のユーザー登録はがきに記載されているシリアル番号を入力してください。

ユーザー名と会社名の入力は任意です。



シリアル番号入力時の注意点

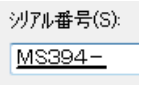
- ご使用のパソコン一台につき、ひとつのシリアル番号が必要となります。同一のシリアル番号で複数のパソコンにインストールすることはできません。
- シリアル番号の入力は半角英数で行ってください。また、英字はすべて半角大文字で入力してください。

間違いを起こしやすい英字の「I（アイ）、O（オー）、Z（ゼット）」はシリアル番号には使用しておりません。

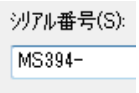
- 英数字の間にある「－（ハイフン）」は半角で入力してください。
- 「入力されたシリアル番号が違います」とエラーメッセージが表示された場合は、お手数ですがもう一度シリアル番号のご確認をお願いします。入力時の注意を参照の上、入力ミスなどが無いことを確認して頂き、再度［次へ］をクリックしてください。

「全角文字」と「半角大文字」の違いにご注意ください！

正しい番号を入力しているにもかかわらず、「番号が違います。」と表示される場合は、シリアル番号が「全角」で入力されている可能性があります。シリアル番号は、必ず**半角大文字**で入力してくださいますよう、お願い致します。



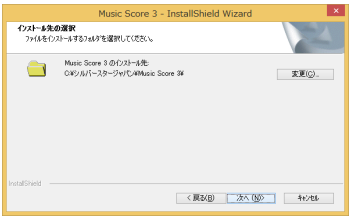
全角文字
（×）



半角大文字
（○）

3.2.4.　インストール先を選択する

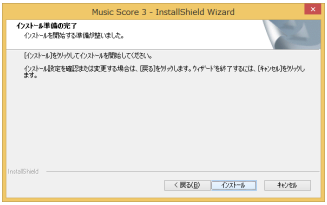
「インストール先の選択」画面が表示されますので、特に変更する必要がない場合はそのまま「次へ」をクリックしてください。



インストール先を変更したい場合は「変更」をクリックすると「フォルダーの選択」画面が表示されますので、希望のフォルダーを選択後に「OK」をクリックします。インストール先のフォルダーが変更されたことを確認できましたら「次へ」をクリックしてください。

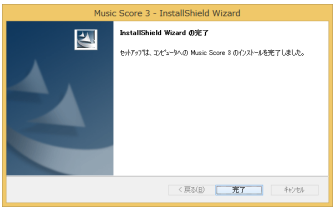
3.2.5.　インストールを実行する

「インストール準備の完了」の画面が表示されます。「インストール」をクリックすると『MusicScore3』のインストールが自動的に実行されて、ファイルのコピーや各種設定が行われますので完了するまでお待ちください。



3.2.6.　インストールの完了

インストールが完了すると、「InstallShield Wizard の完了」画面が表示されます。

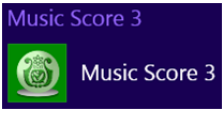


「完了」をクリックすると『MusicScore3』のインストール作業は終了となります。

3.3.　MusicScore3 の起動方法

● スタート画面から起動する（Windows 8.1 / Windows 8）

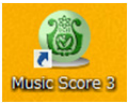
スタート画面上にある「MusicScore3」と表示されたタイルをクリックします。



タイルが見当たらない場合は「すべてのアプリ」ボタンをクリックして、パソコンにインストールされている全てのアプリケーションを表示してください。

● デスクトップ上のアイコンから起動する

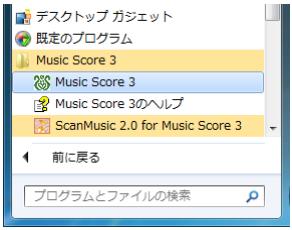
インストールが終了したら、デスクトップ上に本ソフトを起動するためのアイコンが表示されるので、このアイコンをマウスでダブルクリックしてください。



● スタートメニューから起動する（Windows 7 / Windows Vista）

1、 Windows のデスクトップ画面左下にある「スタート」ボタンをクリックします。

2、 開いたメニューから「すべてのプログラム」→「MusicScore3」の順で選択して、その中にある「MusicScore3」をクリックします。



3.4.　MusicScore3 の終了方法

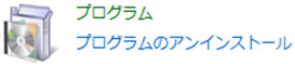
MusicScore3 の「ファイル」メニューより「終了」をクリックするか、MusicScore3 画面右上の×ボタンをクリックします。

4. MusicScore3 のアンインストール方法

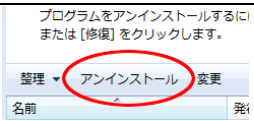
『MusicScore3』をパソコンからアンインストールする場合は、必ず以下の手順で操作を行ってください。

アンインストールには管理者(Administrators)権限が必要となります。管理者権限のあるユーザーでログインしてから作業を行ってください。

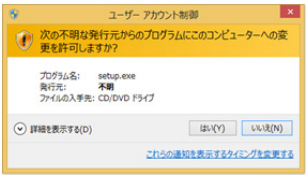
1. 「コントロールパネル」の中にある「プログラムのアンインストール」をクリックします。



2. パソコンにインストールされているプログラムの一覧が表示されるので『MusicScore3』を選択します。すると、リスト上部に「アンインストール」ボタンが表示されるのでそれをクリックします。



3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されるので[はい(Y)]をクリックします。



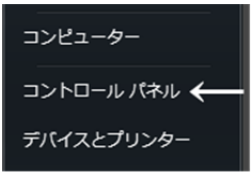
4. アンインストールの確認メッセージが表示されるので[はい(Y)]をクリックするとアンインストールが行われます。

5. 「アンインストール完了」の画面が表示されたら「完了」ボタンをクリックしてください。

コントロールパネルの表示方法について

● Windows 7 / Windows Vista の場合

デスクトップ画面左下の「スタート」ボタンをクリックするとメニューが表示されるので、その中にある「コントロールパネル」をクリックします。



(スタートボタン)

● Windows8 / 8.1 の場合

スタート画面にある「デスクトップ」と書かれたタイルをクリックして、デスクトップ画面を表示します。

パソコンによってタイルの絵柄は異なる場合があります。

続いて、デスクトップ画面の右下角（図 3 の矢印部分）にマウスのポインタを合わせると「チャーム」メニューと呼ばれる項目が表示されるので、この中の「設定（歯車のマーク）」をクリックします。

「設定」項目が表示されたら、その中にある「コントロールパネル」をクリックしてください。（図 4）

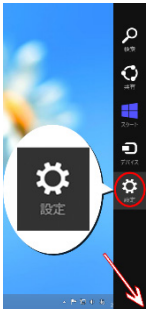


図 3

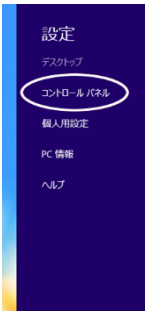
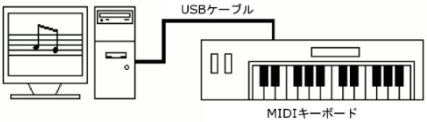


図 4

5. MIDI 機器の接続

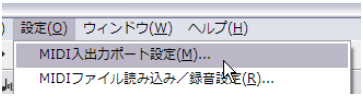
MusicScore3 では、MIDI キーボードを用いたリアルタイム入力が可能です。MIDI キーボードとパソコンの接続例を以下に記載します。



MIDI キーボードの取り扱いについては、MIDI キーボードに付属のマニュアルをご覧ください。

現在市場に流通しております MIDI キーボードは「USB 接続方式」が主流となっておりますが、一部の MIDI キーボードでは USB 端子を備えていないものもあります。そうした製品とパソコンを接続する場合は「MIDI インターフェース」と呼ばれる機器が必要になりますので、MIDI キーボードをご購入される際にはご注意ください。

MIDI キーボードがパソコンに認識されますと「MIDI 入出力ポート設定」の「入力ポート」にて接続した機器を選択可能になります。



6.　音源設定

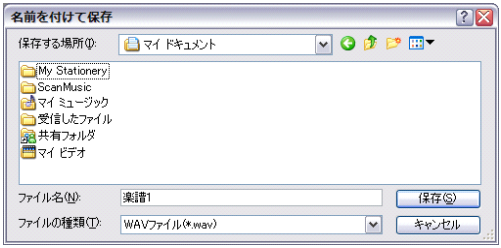
MusicScore3 では独自音源の搭載により高品位な音色での演奏をお楽しみいただけます。また「名前を付けて保存」(ファイルメニュー)より WAV ファイルでの書き出しにも対応しましたので、オリジナルの音楽 CD(※)を手軽に作成することも可能です。

※　音楽 CD の作成に対応した CD ライティングソフトと CD-R ドライブが必要です。

使用する音源の切り替えは「MIDI 入出力ポート設定」より行います。

「MIDI 入出力ポート設定」出力ポート

「ファイルの種類」から「WAV ファイル」を選択



7.　PDF マニュアルについて

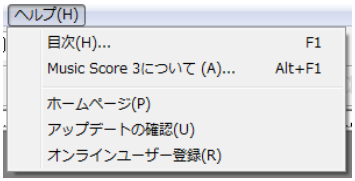
MusicScore3 では、本篇のマニュアルを PDF 形式のデータとして CD-ROM に収録してあります。PDF マニュアルをご覧頂く際には、「Adobe Reader」が必要となります。

「Adobe Reader」は、お使いのパソコンに既にインストールされている場合もありますが、もしお持ちでないようでしたらアドビシステムズ社のホームページより入手できますので、ご確認を頂けますよう、お願いいたします。

PDF ファイルは、お手持ちのプリンタにて印刷して頂くことで、冊子のマニュアルとしてもお使い頂けます。

8.　ヘルプファイルのご案内

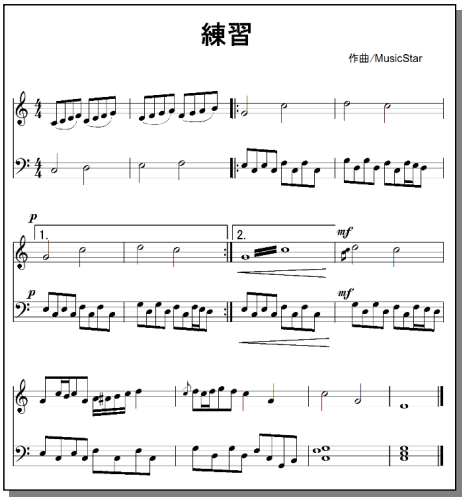
MusicScore3 の「ヘルプ」メニューより「目次」をクリックすると、ヘルプファイルを表示することができます。



もしくは Windows のスタートメニューから「すべてのプログラム」→「MusicScore3」→「MusicScore3 のヘルプ」をクリックすることでも、表示が可能です。

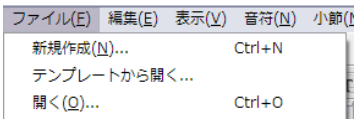
9. 簡単な楽譜を入力してみましょう

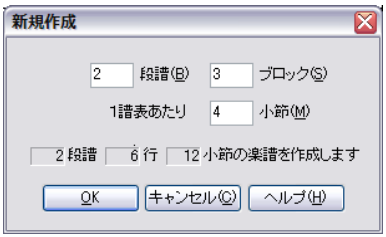
それでは早速、次のような楽譜を作ってみましょう。



9.1. 譜面の新規作成

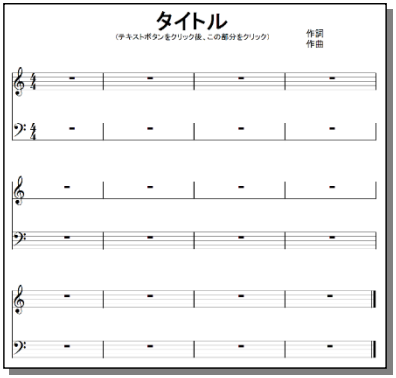
ファイルメニューの「新規作成」をクリックします。「新規作成ウィンドウ」が表示されますので、ここで下図のように値を設定してから「OK」をクリックしてください。





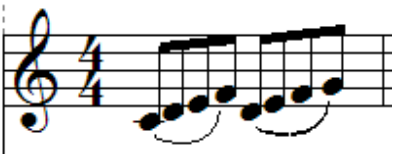
「2」段譜「3」ブロック　1 譜表あたり「4」小節

すると画面には次のような譜面が表示されます。

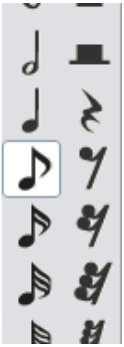


これで譜面が用意できました。それでは音符を入力してみましょう。

9.2.　音符入力

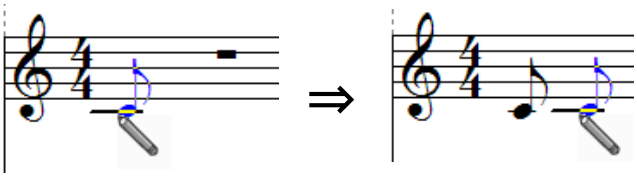


まず第 1 譜表の 1 小節目から･･･

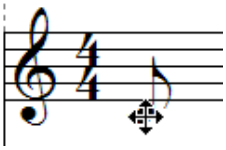


MusicScore3 の画面左には音符パレットが表示されています。このパレットより「8 分音符」をクリックします。

五線譜上にマウスを移動しますと、カーソルに 8 分音符がくっ付いて表示されていますので、この状態で左クリックすると音符の入力ができます。

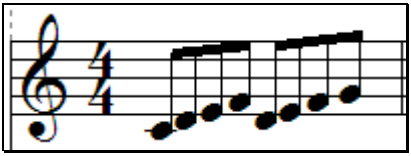


この要領で残りの音符も入力します。音程を間違えて入力してしまった場合は、音符の「符頭」(黒丸の部分)にマウスを重ねてみましょう。



すると左図のようにマウスポインタが「十字矢印」に変化します。この状態で左クリックをしたまま、マウスを動かしてみてください。上下に動かすと音程、左右に動かすと位置を変更できます。

さて、以下のような譜面は無事に書けましたか？



それでは次にスラーを入力します。

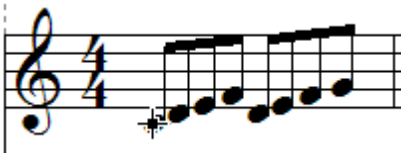
まず「ツールボックス」ボタンをクリックしてください。すると、画面左に「ツールボックスパレット」が表示されます。

このパレットの右上にあるボタンが「スラー」の入力ボタンです。ちなみに、左側にあるよく似た形のボタンは「タイ」の入力ボタンになりますのでお間違えのないようご注意ください。

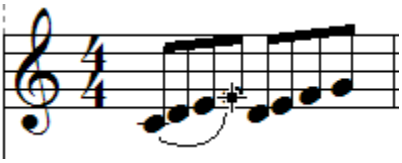
スラーボタンをクリックしたら次の要領で入力します。

① スラーの「始点」となる音符を 1 回クリックします。

② 続けてスラーの「終点」となる音符を 1 回クリックします。



最初に始点となる音符をクリック

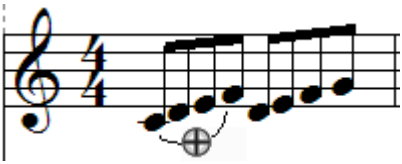


次に終点となる音符をクリック

このように「始点と終点」の音符を 1 回ずつクリックすることでスラーを入力できます。もし違う音符同士がスラーで繋がってしまったら、「消去」ツールを使ってください。

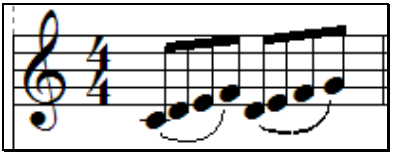
左図の「消去ボタン」をクリックすると、譜面上でのマウスカーソルが「消しゴム」の形になるので、このまま「スラー」にカーソルを重ねます。

※　消しゴムの「頭」の部分を記号に重ねてください。

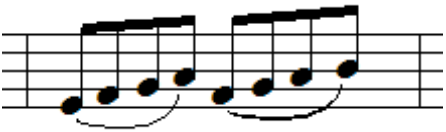


すると、カーソルが「ネジの頭」みたいな形に変化します。この状態でクリックすると「スラー」を消去することができます。音符も同じ方法で消すことができます。

ここまでの操作で、以下のような譜面が出来上がります。



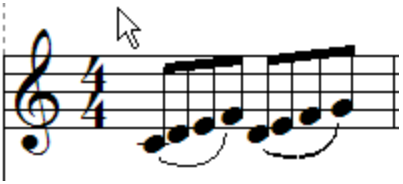
それでは続いて 2 小節目の入力に移りましょう。



1 小節目とそっくりな音符の並びです。音符をひとつずつ入力してももちろん構いませんが、ここは 1 小節目の音符をコピーしてしまいましょう。コピーは次の手順で行います。

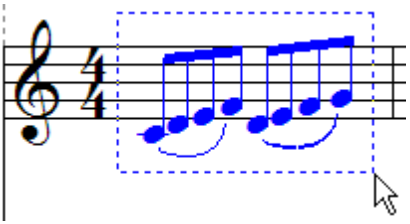
① 「選択」ボタンを押して、マウスカーソルを「選択状態」に切り替えます。

② 左図の位置にマウスカーソルを持っていき、左クリックをしたまま・・・

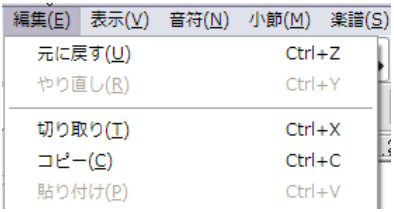


③ 斜め右下に向かってマウスを動かします。点線の四角内に音符がすっぽり囲まれたことを確認してから、クリックを放します。

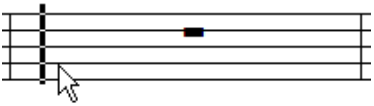
「範囲選択」は、とても良く使う操作になりますので、ぜひマスターしてください！



④ 続けて編集メニューから「コピー」を選択します。何も変化はありませんが、コピーはしっかり完了しています。

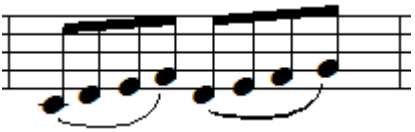


⑤ 次に 2 小節目の頭の部分をクリックしてください。すると、クリックした部分で縦線がチカチカと点滅します。この縦線は**「カレット」**と呼びます。

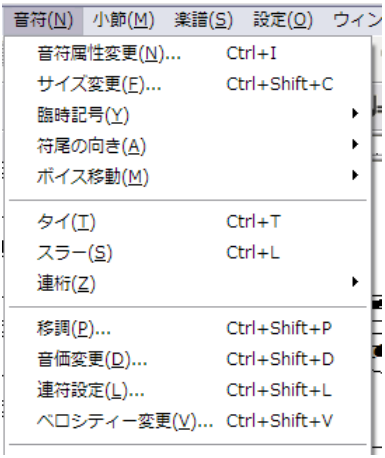


⑥ それでは、先ほどコピーした音符を貼り付けます。編集メニューから「貼り付け」を選択してください。すると・・・

⑦ 音符が 2 小節目に貼りつきました。続いて音程を上にずらしましょう。先ほどと同じ操作で、これらの音符を選択範囲内に囲みます。

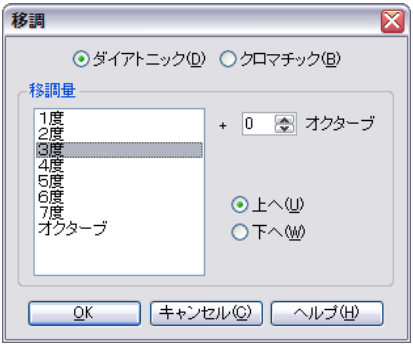


⑧　音符メニューから「移調」を選択します。

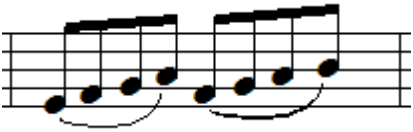


⑨　移調ウィンドウが表示されるので下図のように設定をします。

- 「ダイアトニック」
- 「移調量 3 度」
- 「上へ」



⑩　この操作により音符が上にずれました。以上で 2 小節目の入力は完了です。



移調量について...

移調量の「1 度、2 度...」といった表現は、音符と音符の距離のことを指します。ふたつの音符が全く同じ音程の場合、これらの距離は「1 度」と表現されます。

「ド」と「レ」のように1個ずれている場合の距離は「2 度」になり、「ド」と「ミ」のようにふたつずれている場合は「3 度」となります。

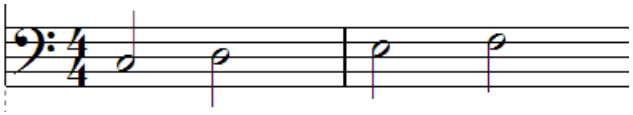
黒鍵（シャープやフラット）が入ってくると話が複雑になってきますので、ここでは白鍵のみを見た場合とします。

ここまで入力した時点で、一度データを保存しておきましょう。

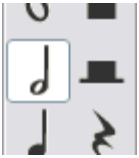
ファイルメニューの「名前を付けて保存」を選択すると、「名前を付けて保存ウィンドウ」が表示されます。「保存する場所」と「ファイル名」を設定したら「保存」をクリックしてください。次回の保存からは「上書き保存」を選択すれば OK です。

ファイルの保存はこまめに行うことをお勧めします。

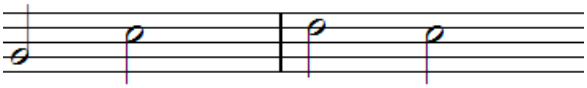
それでは、第 2 譜表への入力に移ります。



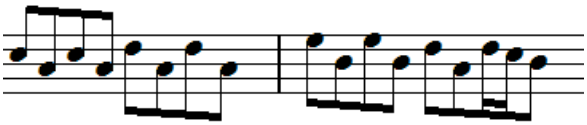
第 2 譜表の 1、2 小節はご覧の通り、2 分音符が 4 つあるのみです。音符パレットから「2 分音符」ボタンをクリックして譜面に入力しましょう。



上図のように入力できましたら、このまま第 1 譜表の 3、4 小節も入力してしまいます。

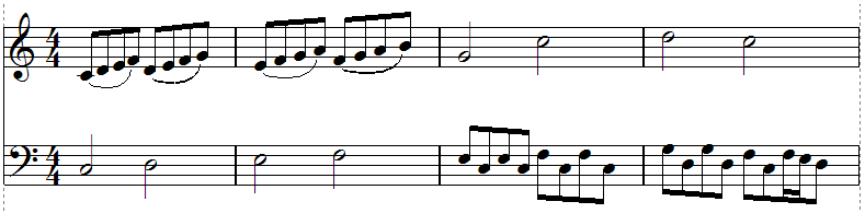


うまく入力はできましたか？では続いて第 2 譜表の 3、4 小節に下図の音符を入力しましょう。



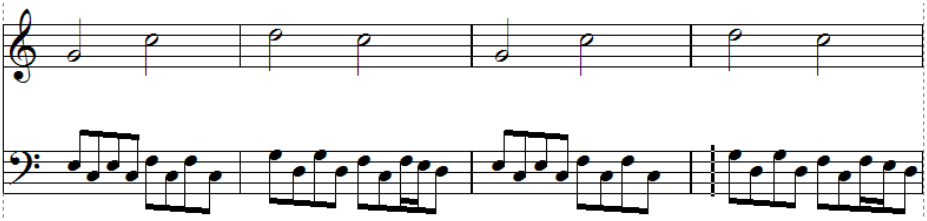
8 分音符が細かく上下しており、4 小節目には 16 分音符も混ざっています。音程や音符の種類に注意しながら、ゆっくり入力してください。

ここまで入力が終わった時点で、以下のような譜面が仕上がっているかと思います。



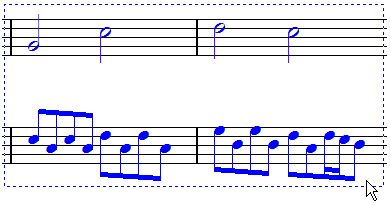
間違いなく打ち込めましたか？「初めから演奏」ボタンをクリックすると、打ち込んだ音符を演奏することができます。

では続きまして第 2 ブロック、5～8 小節目の入力をしましょう。まずは以下のような譜面を作成します。



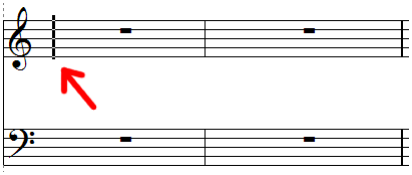
同じパターンの繰り返しとなっています。更によくよく見てみると、第 1 ブロックの 3、4 小節そっくりそのままなのでコピー＆貼り付けで入力してしまいましょう。手順はよろしいですか？

① まず 3、4 小節目の音符を第 1、第 2 譜表まとめて選択範囲内に囲みます。選択された音符は青色に変わりますので、選択漏れがないかを確認してくださいね。



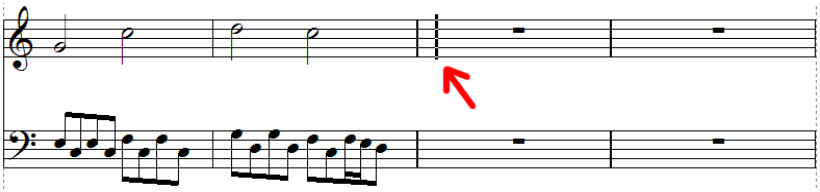
② 編集メニューから「コピー」を選択します。

③ 第 1 譜表 5 小節目（第 2 ブロックの左端）をクリックして、カレットを点滅させます。

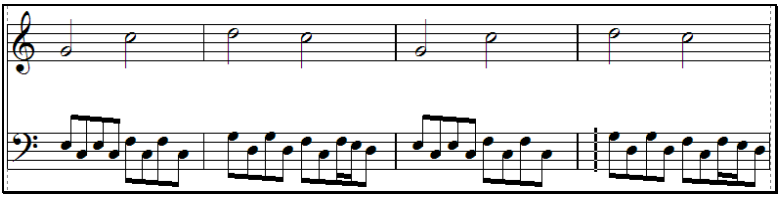


④ 編集メニューから「貼り付けを」選択します。どうでしょう、音符は無事に貼り付きましたか？

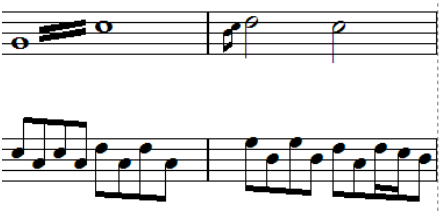
⑤ 今度は 7 小節目をクリックしてカレットを表示してください。



⑥ 再度、編集メニューから「貼り付け」を選択します。以上の操作で、次のような譜面が出来上がったと思います。



続きまして、7 小節と 8 小節の音符にちょっとした細工を施します。以下の譜面が完成形です。

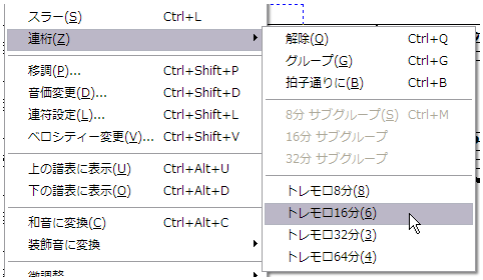


7 小節目は「全音符が 2 本線で繋がった形」で、8 小節目は 2 分音符の頭に小さな音符がくっ付いています。これらは「16 分トレモロ」と「装飾音符」になります。

トレモロの入力

1、 まず 7 小節目に入力してある 2 分音符ふたつを選択範囲内に囲みます。

2、 続いて音符メニューから「連桁」をたどり、その中にある「トレモロ 16 分」を選択します。



3、 すると以下のように音符が繋がります。

この状態で再生をすると、16 分音符刻みで 1 小節分「ソ、ド、ソ、ド・・・」と演奏されます。

もし「トレモロ 32 分」を選択した場合は線が 3 本になり、32 分音符の刻みで「ソ、ド、ソ、ド・・・」と演奏されます。

トレモロ入力のコツ

「2 分音符をトレモロで繋いだはずなのに、繋いだ結果は全音符に変わってしまっている。なぜ？」と思った方もいらっしゃることでしょう。MusicScore でトレモロを入力する際には、**繋ぐ前と後で音符の長さ(音価)は 2 倍**になります。

言い換えれば、トレモロ表記したい音符の「半分の長さ」の音符をまず入力して、それからトレモロで繋ぐと、思ったとおりの表記が完成するというわけです。

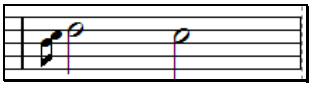
2 分音符でトレモロを表記したいときは…　　4 分音符を入力すれば OK です。

装飾音符の入力

1、 まず音符パレットより 8 分音符ボタンをクリックします。

2、 続いてパレットの最下部にある「装飾音符ボタン」をクリックします。斜線の入ったマークと入っていないマークがありますが、どちらを選んでも構いません。

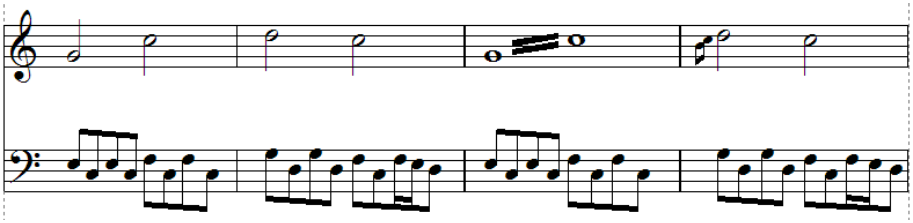
3、 8 小節目最初の 2 分音符の左側でクリックして「シ、ド」の二つの音符を入力します。どうでしょう？以下のような譜面になりましたか？



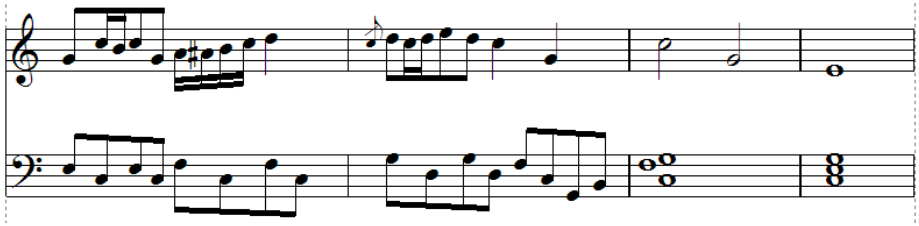
装飾音符の種類

装飾音符には、斜線の入った「短前打音」と、斜線のない「長前打音」があります。その名のとおり、短前打音は「短く」演奏して、長前打音は「ほぼその装飾音符の長さ」だけ演奏をするように示します。MusicScore での演奏においてはこの区別はなく、装飾音はすべて「64 分音符」の長さで演奏されます。

さて、これで第 2 ブロックの音符入力が終了しました。以下のような譜面に仕上げることができましたか？



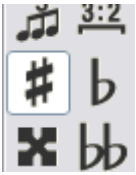
問題無いようでしたら、いよいよ最後「第 3 ブロック」の入力に進みます。まずは以下の譜面を作りましょう。



ここでの入力は 9 小節目にある「シャープ」と 11、12 小節の和音がポイントです。通常の音符入力の説明は省略しますので、早速、シャープの入力手順を説明します。

シャープの入力

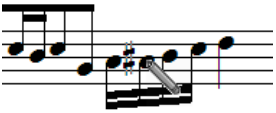
シャープやフラットといった臨時記号は、既に入力されている音符に対して「後付け」する形で入力します。



1、　選択ツールを使って音符を動かして、シャープを入れる隙間を作ります。

2、　音符記号パレットから「シャープ」ボタンをクリックします。

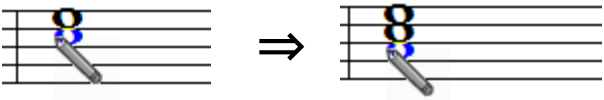
3、 シャープを付けたい音符の**符頭にマウスカーソルを合わせて**クリックします。



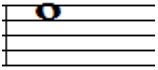
すべての臨時記号は同じ操作で入力することが可能です。また、間違えて入力してしまった場合は「消去」ツールを使用すれば、音符の消去と同様の操作で消去することができます。

和音の入力

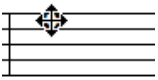
和音の入力には2種類のやり方があります。まずは通常の音符入力にて、同じ位置に音符を入力していく方法です。



もうひとつは、入力した音符を次々にコピーする方法です。

1 

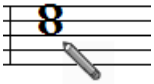
音符をひとつ入力します。

2 

入力した音符にマウスカーソルを重ねると「十字矢印」に形が変わります。この状態で「Ctrl キー」を押したまま、更にマウスを左クリックしながら…

3

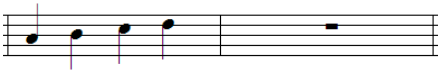
コピーしたい方向にずらします。

4 

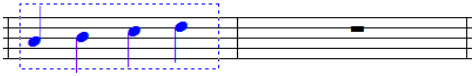
左クリックを放したところでコピーが完了します。

「Ctrl キー」を用いたコピーの方法は、「音符メニュー → コピー」の短縮形として使用することもできます。

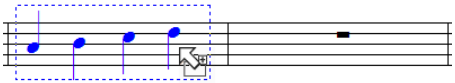
例えばこの譜面において、左の小節の音符を右の小節にコピーするには・・・



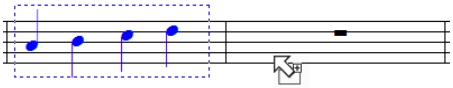
まず左小節の音符を範囲選択します。



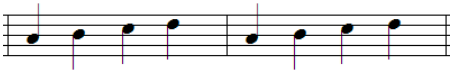
選択範囲内で Ctrl キーと左クリックを押したまま･･･



右の小節にカーソルを持っていきます。



左クリックを放したら音符がコピーされます。



Ctrl キーを押さずにこの操作を行った場合は、コピーではなく「移動」を実行できます。

コピーと移動では、マウスカーソルの形が異なります。

コピー時のカーソル

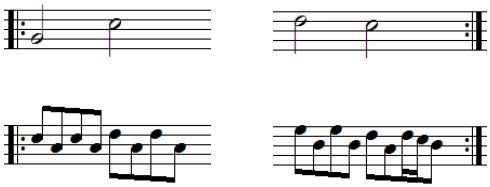
移動時のカーソル

これですべての音符の入力は完了しました。次は各種記号の入力になりますが、その前に入力間違いがないか再度確認しておきましょう。

9.3.　記号の入力

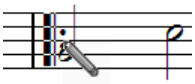
ここからはリピート小節線やエンディング記号（繰り返し括弧）などを入力していきます。

まずは「リピート小節線」から入力してみましょう。3 小節目の頭と6 小節目の終わりにある小節線です。

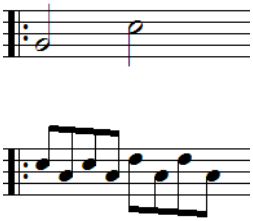


1、 「繰り返し記号パレット」ボタンをクリックします。

2、 「繰返し記号パレット」が表示されますので、その中から「リピート小節線(始)」を選択します。

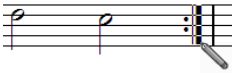


3、 3 小節目の頭にマウスカーソルを合わせてクリックします。

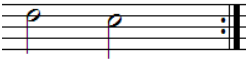


4、 第 1、第 2 譜表に同時にリピート小節線が設定されます。

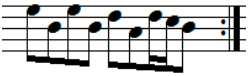
5、 続けて 6 小節目にリピート小節線(終)を設定します。先程のパレットより「リピート小節線(終)」を選択します。



6、 6 小節目の終わりにマウスカーソルを合わせてクリックします。

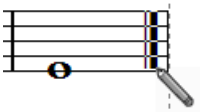


7、 第 1、第 2 譜表に同時にリピート小節線が設定されます。



次に終止線を最終小節に設定しましょう。

パレットから「終止線ボタン」を選択します。



12 小節目の終わりにマウスカーソルを合わせてクリックします。今までと同様に、両方の譜表に終止線が設定されます。

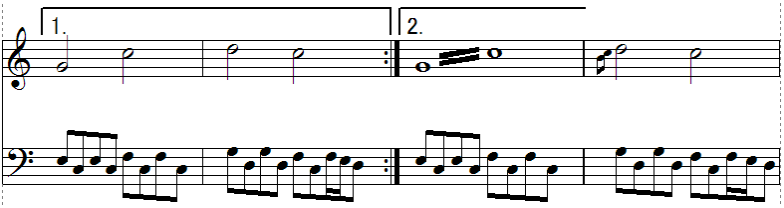
リピート小節線の消し方について

リピート小節線は「消去」ツールで消すことができないため、「標準線」で上書きすることにより消去を行います。

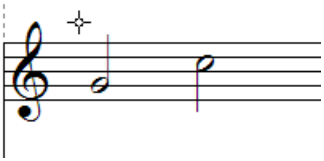
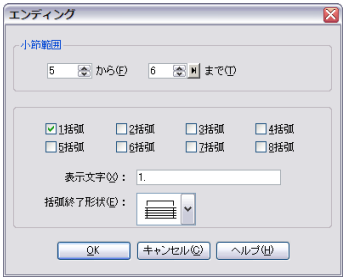
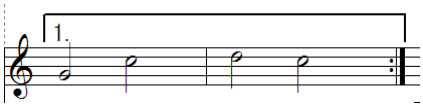
繰返し記号パレットの左上にあるボタンが「標準線」ボタンになります。このボタンを押した後、リピート小節線を入力した付近で左クリックすると標準線に置き換わります。

パレットの中には他にも、二重線や終止線がありますが、これらの小節線も同じように「上書き」することでの置き換えが可能となっています。

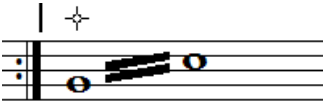
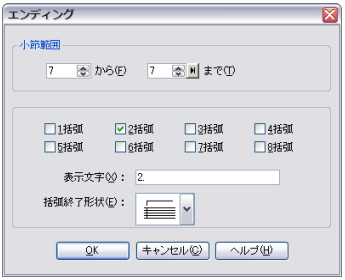
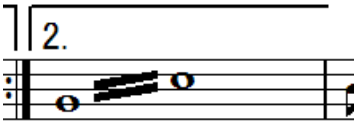
では次に、エンディング記号（繰り返し括弧）の入力をしましょう。



以下の手順に沿って、まずは 1 括弧を入力します。

1		繰り返し記号パレットより「エンディング」ボタンを選択します。
2		5 小節目の上でマウスをクリックすると、エンディング入力ウィンドウが開きます。
3		● 小節範囲 ： 5 から 6 まで ● 「1 括弧」にチェック 「表示文字」には自動的に数字が入ります。 以上の設定をしたら「OK」をクリックしてください。
4		5 小節と 6 小節にまたがってエンディング記号（1 括弧）が表示されます。

続いて 2 括弧の入力です。

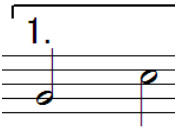
1		エンディングボタンを押した状態で、7 小節目の上をクリックします。
2		● 小節範囲 ： 7 から 7 ● 「2 括弧」にチェック ● 括弧終了形状を以下に設定。 以上の設定をしたら「OK」をクリックしてください。
3		7 小節目にエンディング（2 括弧）が表示されます。

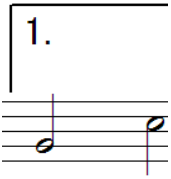
エンディングの変形、および消去

エンディングの括弧は、図の丸印で示した 2 ヶ所をそれぞれマウスでクリックしたまま動かすことで高さを変更することができます。

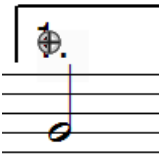
数字も好きな位置に移動させることが可能です。

※　選択ボタンをクリックした状態で行ってください。

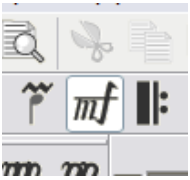




また、エンディングを消去するときは「消去」ツールを選択した後に、数字にマウスカーソルを合わせてクリックしてください。



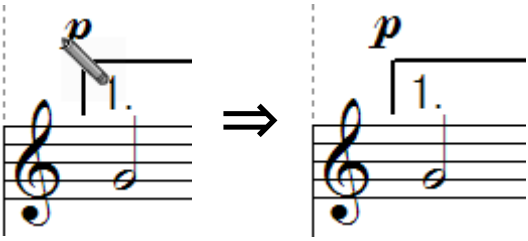
次は強弱記号の入力です。「強弱記号ボタン」をクリックすることで「強弱記号パレット」が表示されます。このパレットより、入力したい強弱記号を選択して、譜面上をクリックすることで入力していきます。



まずは 5 小節目に「p（ピアノ）」を入力しましょう。

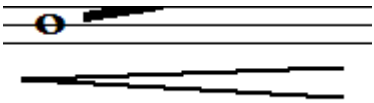
1、 強弱記号パレットから「p」を選択します。

2、 5 小節目の入力したい位置にマウスカーソルを置いてクリックします。

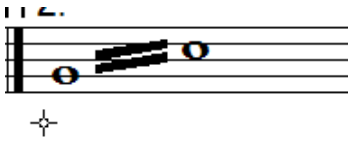
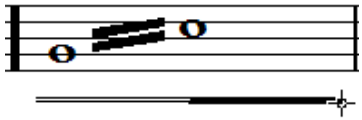


次に 8 小節目に「mf（メゾフォルテ）」を入力します。入力の仕方は先程と全く同じです。パレットより「mf」を選択してから、入力したい位置でマウスをクリックしてください。

続いて 7 小節目に「クレッシェンド」を入力します。クレッシェンドは、強弱記号パレット最下部にある「＜」のボタンを選択することで入力が可能です。



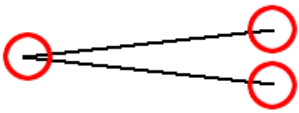
1 「＜」ボタンを選択します。

2		7 小節目の左図の位置でマウスを左クリックしたまま・・・
3		右側に向かってマウスを動かします。 ここで左側に向かってマウスを動かした場合は「デクレッシェンド」を入力することができます。
4		さらに下にマウスを動かすことで、開き角度を調整します。長さと角度が適当になったところで、左クリックを放してください。

以上でクレッシェンドの入力は終了です。

クレッシェンドの変形、および消去

左側の丸印部分をクリックしたまま動かすと、クレッシェンドの位置を変更することができます。また、右側の 2 ヶ所の丸印を動かすことで、角度を変更することができます。



クレッシェンド記号を消去するときには、「消去」ツールを選択した後、記号の何れかの部分をクリックすることで消去が可能です。

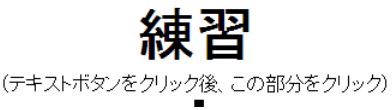
9.4. タイトルの入力

タイトルの入力には「ページテキストツール」を使用します。まずは下図の「ページテキスト」ボタンをクリックしてください。

譜面上の「タイトル」と書かれた部分をクリックすると、文字の周囲にテキスト入力枠が表示されます。

入力枠は 8 つの点で囲まれています。それぞれの点にマウスカーソルを合わせると、カーソルの形が変化しますので、この状態でクリックしたままマウスを動かすと入力枠の大きさを変更することができます。

マウスを左クリックしたまま文字をなぞると文字が灰色に選択された状態になりますので、Delete キーを押して文字を消去します。



新たにタイトルを入力します。

ここでは「練習」と入力しましたが、お好きなタイトルを入力してください。

副題も一緒に入力してみましょう。

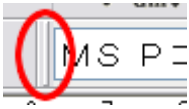
文字サイズを変更したい場合は「書式バー」にて可能です。

上図の四角で囲んだ部分が文字サイズです。

既に入力してある文字のサイズ変更をする場合は、まず対象の文字を灰色の選択された状態にします。その後に文字サイズ欄の「V」をクリックするとリストが表示されますので、その中から好みのサイズを選択します。または数字部分をクリックすることで直接、値を入力することもできます。入力して後で Enter キーを押すことで、サイズ変更が確定されます。

フォントの変更も、同様の手順にて可能です。

画面のサイズによっては「書式バー」が全部表示されないこともあります。その場合には「ハンドル」をクリックしたまま譜面上にマウスを移動させることで、バーを引き出すことができます。



入力した文字を確定するには「選択」ボタンをクリックします。すると、テキスト入力枠が消えて入力が確定されます。文字はマウスでドラッグして好きな位置に移動させることができます。

再編集したいときは、ページテキストボタンをクリックした後に文字をクリックすると、再びテキスト枠が表示されます。

練習

初めてのMusicScore3

作曲者名の部分も入力の手順は同じです。

小節テキストとページテキストの違い

- **小節テキスト**

小節テキストツールを用いてテキスト入力をした場合は、そのテキストの一番近くにある小節に関連付けられます。このため、その小節を削除またはコピーした場合、テキストも同じく削除またはコピーされます。

- **ページテキスト**

ページテキストツールにて入力されたテキストは、そのページに対して関連付けられます。ページ全体を削除した場合は、もちろんテキストも消えてしまいますが、小節テキストのように小節の編集に対して左右されることはありません。

タイトルや作詞・作曲者名の入力にはページテキストを使うと良いでしょう。

さて、楽譜は無事に完成しましたか？データの保存も忘れずに行ってくださいね。

9.5.　五線譜の間隔を調整する

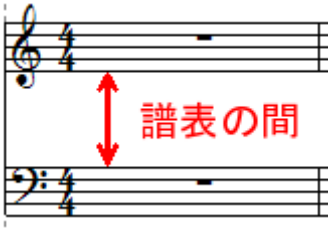
最後に譜表とブロックの幅を調整しましょう。まず設定メニューから「基本設定」を選択します。

基本設定ウィンドウが表示されたら、その中から「規格」タブをクリックしてください。ここでは譜面の用紙サイズや余白の調整を行うことができます。

今回調整する部分は「(9) 譜表の間」と「(10) ブロックの間」になります。では「譜表の間」から見ていきましょう。

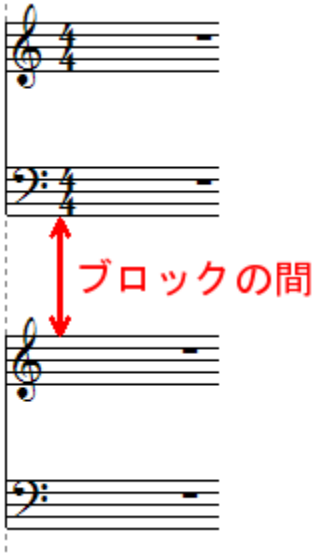
● 譜表の間

「譜表の間」とは、ト音記号の五線譜と、ヘ音記号の五線譜の間隔を指します。ここの数値を、今回は「10」に設定して「適用」をクリックしてみてください。すると譜面上にて譜表の間隔が広がったことを確認できます。



● ブロックの間

譜表同士は左端が実線で繋がっており、このまとまりを MusicScore では「ブロック」と呼んでいます。これは、一般的に大譜表や総譜と呼ばれるものです。



「ブロックの間」では、このブロック同士の間隔を調整できます。今回は「13」に設定して「適用」をクリックしてください。

以上の設定にて、特に問題がないようなら「OK」をクリックしてウィンドウを閉じます。

これですべての作業は終了です。ごく基本的な操作方法については体験して頂けたかと思いますが、いかがでしたか？

まだまだ解説しきれていない機能もたくさんありますが、取扱説明書（PDF ファイル）ではメニューごとに解説を進めていきますので、いろんな楽譜制作にチャレンジしてみてください！

10. 製品のサポートについて

ユーザー登録のお願い

本製品に同封しております「ユーザー登録はがき」をご返送頂くか、またはオンラインでのユーザー登録を行ってくださいますようお願い致します。ユーザー登録が完了していない場合は、サポートを受けられないことがございますのでご注意ください。

オンラインユーザー登録について

インターネットを使用してオンラインでユーザー登録を行って頂けます。「ヘルプ(H)」メニューの中にある「オンラインユーザー登録」をクリックすると、ブラウザが起動してユーザー登録フォームが表示されますので、必要事項を入力して頂きページ下部にある「登録確認」ボタンをクリックしてください。登録内容の確認画面が表示されますので、内容を確認して頂きました後、ページ下部にある「登録」ボタンをクリックすればユーザー登録は完了となります。

- **オンラインユーザー登録を行うには、インターネットへの接続環境が必要です。また、インターネットの利用における通信費等はお客様のご負担となります。**
- **オンラインユーザー登録を行って頂いた場合は、ユーザー登録ハガキをご返送頂く必要はございません。**

シリアル番号について

同梱されているユーザー登録ハガキの端に、シリアル番号のお客様控えが印刷されております。シリアル番号は「MusicScore3」の再インストールやアップデートを行う際に必要となりますので、ユーザー登録ハガキのご返送の際に切り取って大切に保管してくださいますようお願い致します。

※ シリアル番号の再発行は致しかねますので、決して紛失しないようにご注意ください。

保証について

保証期間はお買い上げ頂きました日から 1 ヶ月間となります。この期間内に取扱説明書に記載した手順によるインストールが正常に行えずに、製品を使用することができなかった場合は無償で新品とお取り替え致します。

パソコンの処理能力が製品の動作環境を満たしていない場合は、動作保証外（サポート対象外）となります。

交換方法

製品 CD－ROM と不具合状況をご記入の上、弊社サポートセンターまでお送りください。なお、本ソフトの使用により生じたいかなる事項に対しても、弊社は上記以外の責任を一切負いかねますのでご了承くださいますよう、お願い致します。

＜サポートセンター＞

〒500-8856
岐阜県岐阜市橋本町 2 丁目 20 番地　濃飛ビル 11 階
株式会社シルバースタージャパン「MusicScore3」サポート係

TEL：　050-3775-7203（平日 13:00～17:30）　FAX：　058-213-7398
電子メール：　support@silverstar.co.jp
ホームページ：　http://www.silverstar.co.jp/

製品のアップデートに関するご案内

製品に不具合が見つかった場合は修正が完了次第、弊社ホームページにてアップデーターを公開いたします。ホームページをご覧になるには、「ヘルプ(H)」メニューより「アップデートの確認」をクリックしてください。

また、製品に関するご意見、ご感想などございましたら上記サポートセンターまでお知らせください。頂戴しましたご意見は、今後の製品開発に活用させていただきます。

アップデートの確認を行うには、インターネット接続環境が必要となります。また、インターネットの利用における通信費等はお客様のご負担となります。

お問い合わせいただく際のご注意

土曜、日曜、祝日、年末年始などはお休みを頂きます。なお、電話によるお問い合わせは混み合うことが予想されますので、なるべく電子メールか FAX にてお問い合わせくださいますようお願い致します。

FAX: 058-213-7398 ／ 電子メールアドレス: support@silverstar.co.jp

※ 以下のご質問につきましてはお答え致しかねますので、何卒ご了承くださいますようお願い致します。

- Windows の操作方法
- パソコンの設定方法や用語に関するご質問
- 作曲の方法、および音楽理論

お問い合わせの内容によっては、回答にお時間を頂く場合がございます。

お問い合わせ頂きました際には、以下の事項についてサポート担当者よりお尋ねしますので、あらかじめお調べくださいますようお願い致します。

（FAX、E-Mail でのお問い合わせの場合には、本文中に記載してください）

- **商品名（MusicScore3）**
- **Windows の種類 （「10 / 8.1 / 8 / 7 / Vista」 および、ビット数「32bit / 64bit」）**
- **パソコンのメーカー、機種名と型番**
- **具体的な症状（エラーメッセージの内容など）**

問題解決の参考とするために、作成頂きました楽譜データをお送り頂く場合もございますのでご了承くださいますようお願いします。